

141

H36-43

“十五”国家级规划教材

L45

新大学日语

听力与会话

总主编 陈俊森
主 编 侯仁锋
副主编 徐 曙

1

编 者 吉田歌织
曹红荃
谈建浩



A0964701



高等教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

新大学日语听力与会话. 1/ 陈俊森总主编. — 北京:

高等教育出版社, 2002

ISBN 7-04-011064-4

I. 新... II. 陈... III. 日语 - 听说教学 - 高等学校 - 教材 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2002) 第 030378 号

策划编辑 祝大鸣 责任编辑 陈 薇 祝大鸣 封面设计 王凌波 责任绘图 徐小燕
版式设计 张 彤 插图选配 陈 薇 责任校对 陈 薇 祝大鸣 责任印制 宋克学

新大学日语听力与会话 1

总主编 陈俊森 主 编 侯仁锋

出版发行 高等教育出版社

购书热线 010-64054588

社 址 北京市东城区沙滩后街 55 号

免费咨询 800-810-0598

邮政编码 100009

网 址 <http://www.hep.edu.cn>

传 真 010-64014048

<http://www.hep.com.cn>

经 销 新华书店北京发行所

印 刷 中国科学院印刷厂

开 本 850×1168 1/16

版 次 2002 年 6 月第 1 版

印 张 11.25

印 次 2002 年 6 月第 1 次印刷

字 数 300 000

定 价 19.20 元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

《新大学日语》系列教材编写委员会

陈俊森 顾明耀 祝大明 翟东娜 赵刚
陈百海 吴侃 侯仁锋 徐曙 陈薇

顾问

北原保雄 (日本筑波大学 校长)

顾明耀 (西安交通大学、日本广岛女子大学 教授)

西村よしみ (日本筑波大学 教授)

砂川有里子 (日本筑波大学 副教授)

山田泉 (日本大阪大学 教授)

主审

田忠魁 (黑龙江大学 教授)

总主编 陈俊森 (华中科技大学 教授)

总策划 祝大明 (高等教育出版社外语分社 副社长)

前 言

一、编写背景

《大学日语教学大纲》1989年出版后对我国的大学日语教育起到了积极的指导作用和推动作用,至今已10余年。高等学校大学外语教学指导委员会日语组在总结了10余年来执行该大纲的经验之后,对其词汇表作了全面的修订,同时对正文和附表中的个别叙述也作了适当的调整。修订后的《大学日语教学大纲》(第二版)已于2000年4月经教育部批准颁发,并开始执行。

按照原《大学日语教学大纲》编写的《大学日语》系列教材(顾明耀、徐祖琼主编),在贯彻执行《大学日语教学大纲》,提高大学日语教学水平,推动我国大学日语教育事业方面发挥了重大作用,并受到全国广大日语教师和同学的普遍欢迎。随着《大学日语教学大纲》(第二版)的颁布,中国的大学日语教学改革也迈上了一个新的台阶。新的世纪呼唤着新的教材,教学改革也要求有新的教材与之配合。为此高等学校大学外语教学指导委员会日语组决定,组织全国重点大学的专家教授和具有广泛代表性的院校的优秀教师,编写新的大学日语教材。《新大学日语》系列教材就是在这种形势下诞生的。

本系列教材在编写设计之前,广泛、认真地听取了全国诸多院校师生的意见,尤其是长期使用《大学日语》教材教师的意见,并于2000年全国大学日语教学研讨会上,在宣传贯彻新大纲的同时,组织各地代表对新教材的编写进行了认真的研讨。概括起来,与会教师对新教材提出了以下希望和建议:在培养日语交际能力方面要有所创新;在难度和分量上要有所控制,不宜超过中级程度;素材要有时代感、趣味性、实用性;考虑到当前外语教学课时减少的现状,阅读量可适当减少;在教材的构成上,读写与听说最好分开成册,听说内容应有所增加;教材应与大学日语四级考试密切配合,同时照顾其他各类日语考试;单词的释义使用日语,以培养学生用日语思考的能力;在版式设计、图片使用、印刷、用纸等方面,要上档次,有美感等等。对这些好的建议,我们在编写这套教材时都尽力作了考虑。

二、编写原则

1. 充分体现《大学日语教学大纲》(第二版)的精神和要求,既强调打好基础,又重视语言运用能力的培养;既考虑教材的实用性,也充分考虑到素质教育的需要;

2. 在充分吸收《大学日语》教材好的编写经验的基础上,采纳国内外新的外语教学理论,力求做到内容一新、结构一新、设计一新;

3. 语言知识的学习重点放在词汇与句型上,语言运用能力的培养以大纲中的“功能意念表”和“语言技能表”为主;

4. 选择、编写纯正、地道的日语文章、例句,同时注意文字优美、风格多样;

5. 既注重日本社会、文化背景,也注重中国社会、文化背景,同时考虑国际文化的大视野;

6. 在注意与大学日语四级考试关联密切的同时, 还注意与其他各类日语考试的关联;

7. 为教师和学习者着想, 在编写教材的同时, 编写出简明、实用的教学参考书。并注意使本教材既作为大学日语的主干教材, 也能兼顾其他学习者的学习需求。

三、教材构成

本套教材共 10 册, 其构成如下:

新大学日语 阅读与写作 1~4;

新大学日语 阅读与写作教学参考书 1(1、2 册合订本)、2(3、4 册合订本);

新大学日语 听力与会话 1、2;

新大学日语 听力与会话教学参考书 1、2。

《阅读与写作》每册由 10 课组成, 教学时间为 40~44 学时。每课由课文、生词、注释、词语用法、表达与句型、练习、阅读 7 部分构成。课文的题材广泛, 体裁多样, 既有反映时代脉搏的文章, 也有传统文化的佳作; 既有年轻人感兴趣的话题, 也有思想内涵丰富的作品。每课的阅读部分配有两篇短文, 内容大多与课文有所关联。每册教材安排了 3 个附录: 附录 1 为两套自测题, 难度与本册相当, 题型与大学日语四级考试有相当的关联性。附录 2 为总词汇表、词语用法和表达与句型索引。附录 3 为两首日文歌曲。

《阅读与写作教学参考书》对应于各册教材, 每册主要内容有: 教学重点与学时分配、课文内容提要、背景知识、“词语用法”例句翻译与注释、“表达与句型”例句翻译与注释、语法学习、近义词辨析、近义表达方式、篇章法指导、写作指导、练习答案、课文及阅读材料译文。

《听力与会话》每册由 15 课组成, 教学时间为两学期共 40~44 学时。每课分为 4 个部分。Part 1 有听音跟读和听简短会话, 这部分以训练大纲规定的听说技能为主。Part 2 安排一篇 10~15 句左右的会话, 会话内容均根据《阅读与写作》相应课的课文或阅读文编写而成, 通过内容、词汇、句型的关联, 提高口语表达的熟练程度。Part 3 分为两个部分: 第一部分是 10 个较短的会话, 每段会话为一道题, 要求听会话回答问题或复述内容; 第二部分是一段较长的会话, 配有 3~4 道题。这部分除了训练听说技能之外, 更着力于大纲所要求的交际能力的培养, 因而对大纲规定的功能、意念项目作了全面的安排。Part 4 是一篇几百字的会话, 要求听录音填空或做笔记, 写出大意后, 口头讲述大意, Part 4 是听说的综合训练。每册教材后附有两套自测题和总词汇表。难度与本册相当, 题型与大学日语四级考试有相当的关联性。

《听力与会话教学参考书》也分别对应于各册教材, 每册的主要内容有: 听力指导、会话指导、听力材料、语法与注释、答案等。

四、致 谢

为了保证本套教材的编写质量, 我们特聘请原大学外语教学指导委员会副主任委员、西安交通大学教授兼广岛女子大学教授顾明耀作为中方顾问, 聘请日本筑波大学校长、著名语言学家北原保雄教授以及筑波大学西村よしみ教授、砂川有里子副教授、大阪大学山田泉教授为日方顾问。聘请原大学



外语教学指导委员会委员、日语组副组长、黑龙江大学田忠魁教授为主审人。顾明耀教授在百忙之中对设计思想、编写大纲以及编写过程中的细节问题都给予了细致的指导和无私的帮助；北原保雄教授亲自为教材撰写课文，使教材生辉；西村よしみ教授、砂川有里子副教授、山田泉教授对教材、教参中的日文部分仔细审阅，提出了宝贵的修改意见，同时对教材编写的宏观问题也提出了不少建设性的意见。田忠魁教授在对各册教材进行总体把关和审查的同时还对许多细节提出了积极的建议。各位顾问和主审人的辛勤工作在这套教材中结下了丰硕的成果，在此对他们为我国大学日语教育所做的贡献表示衷心的感谢。

本套教材在设计和编写过程中，得到许多高等院校教师和领导的帮助和指导，许多教师为教材提出了很好的意见和建议。初稿完成后，曾多次征求有关院校教师的意见，并得到了他们的帮助和支持，谨表示衷心的感谢。

在教材编写过程中，我们与每篇文章的作者和出版社都进行了联系。对那些慷慨授予我们版权使用权的作者和出版社，谨表示衷心的感谢。

日本国际交流基金会对本教材的编写、出版给予了大力的支持与帮助，并提供了“日本語教材制作助成”项目的资助，谨表示衷心的感谢。日本国际文化フォーラム在著作权等方面予以很大的帮助和支持。

日语教材的编写是一项系统工程，是一项很重要的科研活动，个中艰辛只有编写过教材的老师才能有所体会。虽然我们竭尽全力，希望编出一套令老师和学生都满意的好教材，但是还存在一些不尽如人意的地方，希望使用本教材的老师和同学提出批评意见，以便我们不断修订完善。

《新大学日语》系列教材编写委员会

2002年3月

本书使用说明

本书是为以日语为第一外语的大学本科学生编写的，也可作为具有初步日语能力的学习者提高听解能力和口语交际能力的教材和自学课本。

本书以功能交际法为基本教学指导思想，将《大学日语教学大纲》(第二版)中所规定的功能意念项目贯穿到本书的各个典型的听说场景中，同时给出了相关的表达方式及其指导。本书还以复习、整理为主线，以期帮助同学将以前所学的知识系统起来，达到巩固、提高的目的。

本书的特色是：高度地涵盖了《大学日语教学大纲》所规定的内容，同时尽量引入了一些现代生活中必须掌握的词语，内容新颖，自然活泼，实用性强，循序渐进，难易度适中，听解形式多样，图文并茂，并与相关考试接轨。相信使用后会有耳目一新的感觉。

本书包括两册学生用书和两册教学参考书。每册由15课组成，教学时间以两学期40~44学时为宜。

每课分为4个部分(Part1~Part4)：

Part 1为听音跟读(第一册)和听简短会话。

听音跟读要求仔细听辨，反复跟读，掌握日语的语音语调、节奏、语流音变(约音及其语音脱落)。听简短会话的目的是培养听说技能。在学习过程中尽量背下与功能意念相关的表述形式，进而创造性地回答其后的问题。

Part 2为一篇10~15句左右的会话。

会话均系根据《新大学日语 阅读与写作》相应课的课文或阅读文章编写而成，其内容基本相同，词汇、句型基本相关，在练熟会话的基础上，回答其后的问题。同时也可扩展内容，采用提问及回答的形式，提高口语表达的熟练程度。

Part 3为听解10个较短的会话和一个较长的会话。

较短的会话只设1问，较长的会话设3~4问，听完后从选择项中选出一个最佳答案。题型与国内同类考试接轨，与大学日语四级考试一致。听解前可预览选择项，做到心中有数，听解中可边听边记要点，以备选择参考。

Part 4为听会话填空和归纳转述大意(第二册)。

听会话填空，有的只需选择，有的则要根据听到的内容填写，测试点多为数字、外来语、汉字词或短句。本部分旨在培养捕捉主要信息的能力，掌握相关表达，并锻炼短期记忆能力。

归纳转述大意是听一篇300字左右的短文，要求边听边记，听完后写出这篇短文的3~4个关键词，然后根据提示，归纳大意、口头转述。

本书最后还附有两套听解模拟试题，题型、题量均与大学日语四级考试相同，难度也相当。学完本书，完成这两套模拟试题，大致可测出自己的听解水平，对参加大学日语四级考试和其它相关日语考试会大有裨益。

本书出现的词汇总量为 587 个词。大学日语四级词汇标有“*”号，要求必须掌握。词的释义一般只限于常用的及本课中出现的词义。每个词后以数码式标出声调类型。

语法注释以介绍用法为主，一般不列出译文。

会话提问和大意归纳虽给出了范文，但仅作为参考，不要求同学所用的词汇或表达形式完全与范文一致。

本书与《新大学日语 阅读与写作》配套，相辅相成，系统性强，一并使用时，宜先上《新大学日语 阅读与写作》，再学本书。但也不妨独立使用。

希望本套教材能成为广大学生和日语学习者提高听说能力的良师益友。

目 录

第1課

日常の挨拶（一）

Part 1 — 1

Part 2 — 4

Part 3 — 5

Part 4 — 8

第2課

日常の挨拶（二）

Part 1 — 10

Part 2 — 12

Part 3 — 14

Part 4 — 17

第3課

紹 介

Part 1 — 19

Part 2 — 21

Part 3 — 22

Part 4 — 25

第4課

先生の家を訪ねる

Part 1 — 28

Part 2 — 30

Part 3 — 31

Part 4 — 34



第5課

道を尋ねる

Part 1 — 37

Part 2 — 39

Part 3 — 40

Part 4 — 43



第6課

買い物をする

Part 1 — 46

Part 2 — 49

Part 3 — 50

Part 4 — 53



第7課

銀行で口座を開く

Part 1 — 56

Part 2 — 58

Part 3 — 59

Part 4 — 62



第8課

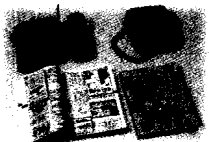
展覧会に誘う

Part 1 — 66

Part 2 — 68

Part 3 — 69

Part 4 — 72



第9課

留守番電話

Part 1 — 75

Part 2 — 77

Part 3 — 78

Part 4 — 81



第10課

旅行

Part 1 — 85

Part 2 — 88

Part 3 — 89

Part 4 — 92



第11課

交通

Part 1 — 96

Part 2 — 99

Part 3 — 100

Part 4 — 103



第12課

引越し

Part 1 — 106

Part 2 — 109

Part 3 — 110

Part 4 — 113



第13課

図書館で

Part 1 — 116

Part 2 — 119

Part 3 — 120

Part 4 — 123



第14課

病気診断

Part 1 — 126

Part 2 — 129

Part 3 — 131

Part 4 — 133



第 15 課

病気見舞い

Part 1 — 136

Part 2 — 138

Part 3 — 140

Part 4 — 143

模擬試験 1 — 146

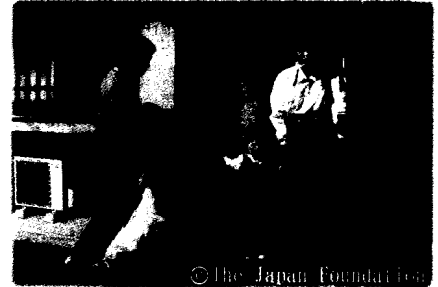
模擬試験 2 — 151

単語索引 — 155



第1課

日常の挨拶（一）



一、テープを聞いて練習しましょう。



▶▶ 1. 助詞の脱落

- ① A: 何してるの?
B: 家族に手紙書いてるの。
- ② ちょっとテープレコーダー貸して。音楽録音したいから。
- ③ 隆志、さっき田中さんから電話あったわよ。
- ④ お腹すいたなあ。何食べようかなあ。
- ⑤ 明日、雨降ったら、運動会中止だよな。
- ⑥ どうしたの? 顔色悪いわよ。今日はもう、仕事やめて、早く家帰ったほうがいいんじゃない?
- ⑦ A: 就職決まったんだって。おめでとう。
B: ありがとう。東京来たら連絡して。電話番号渡しとくから。
- ⑧ A: ねえ、ちょっと頼みたいことあるんだけど。
B: 何?
A: 明日、1時間目の授業休むから、ノートとっといてくれる?
B: いいわ。でも、そのかわり、あさっての授業頼むわよ。
- ⑨ A: どうして昨日学校休んだの。
B: 風邪引いて、頭痛くてさ、ずっと寝てたんだ。
A: それで、もう風邪治ったの?

⑩ A: ただいま。

B: おかえり。夕飯できてるけど、食べる?

A: いや、先に風呂入るよ。

B: じゃ、タオルとパジャマ出しとくわ。



▶▶ 2. 音の脱落

~ている→~てる ~ていく→~てく

① 素敵なセーター着てるわね。どこで買ったの?

② 眼鏡をかけてないと、はっきり見えません。

③ そんなことは分かってます。

④ めそめそしてないで、元気出さない。

⑤ 吉田さん、この辺りに住んでるらしいよ。

⑥ 健康のために毎日1キロ泳いでます。

⑦ 傘、持ってく? 置いてく?

⑧ 関係者以外は立ち入り禁止です。出てってください。

⑨ ここで少し休んでこうよ。

⑩ 喉渴いたね。お茶飲んでかない?

二、テープの会話を聞いて練習しましょう。そして後の質問に答えましょう。

日常の挨拶 (一)



1. 人物: 先生 学生

場所: 大学のキャンパス

学生: おはようございます。

先生: ああ、おはよう。

学生: (今日は) いいお天気ですね。

先生: ええ、いいお天気だね。

2. 人物: 近所同士

場所: 家の前の道

女: こんにちは。

男: あ、こんにちは。

女: 暑いですね。

男: ええ、本当に。

女: お出かけですか。

男: ええ、ちょっとそこまで。

女: そうですか。行ってらっしゃい。

男: 行ってきます。

3. 人物: 夫婦

場所: 自宅の玄関 (外出と帰宅の時の挨拶)

夫: 行ってきます。

妻: 行ってらっしゃい。

夫: ただいま。

妻: お帰りなさい。

4. 人物: 主人 客

場所: 主人の家 (食事に招待する、される時の挨拶)

男: どうぞ、召し上がってください。

女: いただきます。

女: ごちそうさまでした。

男: いいえ、お粗末でした。



問題 ▶▶

1. 朝のうち会った人に何と言って挨拶しますか。
2. 外出しようとする人は何と言って出かけますか。
3. 家族の人が家に帰ったら何と言って迎えますか。
4. 食事をする前に何と言ってから食べますか。

会話の文を見ながら聞きましょう。そして後の質問に答えましょう。



(賢明な選択 A 日本人・B 中国人留学生の会話)

A: 王さん、今日の入学式どうだった?

B: うーん、そうだね。いろいろ考えさせられたよ。この大学に入学できて嬉しいけど、実は受験勉強でとても疲れたから密かに大学では休もうと思っていたんだ。

A: 大体みんなそう思ってるよ。

B: だけど、学長の挨拶を聞いて、将来は厳しそうだから、今からちゃんと勉強しておかないとだめだなあって思ったよ。

A: それはそうだけど、授業がいろいろあって何を選んだらいいのか迷ってるんだ。

B: 僕もだよ。履修カードを提出するまで三日しかないから、先輩に相談して、早く決めようと思う。

A: でも、将来の目標によって、取る授業が違って来るから慎重に決めなくちゃいけないね。

B: そうだね。ところで、大学での勉強の仕方をこれから考えないといけないね。

A: これまで試験のための勉強しかしてないから、いわゆる暗記中心の勉強から、考えて自分の意見をまとめる方法にチェンジしなきゃね。

B: それなら、大変だなあ。僕は書く力が弱いから。

A: 大丈夫だよ。たくさん読んで、たくさん書けばそのうち力が付くよ。勉強はもちろん大切だけど、いろいろな活動に積極的に参加して、いろいろな人と出会って、何でも相談できる友達を作りたいね。一生の宝物になるから。

B: 僕も日本人の友達がたくさん欲しいから、何か活動があったら誘ってね。よろしく。

A: うん、分かったよ。一緒に頑張ろう。

(《新大学日语 阅读与写作 1》第1課 本文「賢明な選択」に基づく)



問題 ▶▶

1. 王さんは大学生活について最初どう思っていましたか。学長の挨拶を聞いて、考えはどのように変わりましたか。
2. 二人は履修科目について何を話し合いましたか。
3. 高校まではどのように勉強してきましたか。

4. 大学ではどのように勉強しなければなりませんか。
 5. みなさんはこれから四年間の大学生活をどのように送りたいですか。

一、短い会話を聞いてその後の質問に答えましょう。答えは選択肢から適当なものを一つ選びましょう。



- ① [A] ぜひ行きたい。
 [B] あまり行きたくない。
 [C] 近いうちに行く。
 [D] もう一度行こう。
- ② [A] 夫婦
 [B] 兄弟
 [C] 同僚
 [D] クラスメート
- ③ [A] 男の人は女の人にパソコンを使わせてもらう。
 [B] 男の人は女の人にパソコンを貸してもらう。
 [C] 男の人は女の人にパソコンを貸してあげる。
 [D] 男の人は女の人にパソコンを借りてあげる。
- ④ [A] 女の方は和食にしましたが、男の方は洋食にしました。
 [B] 男の方は和食にしましたが、女の方は洋食にしました。
 [C] 二人とも洋食にしました。
 [D] 二人とも和食にしました。
- ⑤ [A] 11時45分
 [B] 11時50分
 [C] 12時
 [D] 12時10分